

令和2年度 学校経営方針

丹波篠山市立丹南中学校

【校訓】

立志 琢磨 愛郷

【学校教育目標】

主体的に学び 自己実現に向かう ころ豊かな生徒の育成

～ 「学ぶ姿勢」 「学ぶ喜び」 「学ぶ意欲」 ～

「主体的に学ぶ」とは

「学びに向かう態度」を大切にすること。（興味・関心を持って学ぶ。自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って取り組む。自らの学習活動を振り返り、次に生かす。）

「自己実現」とは

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的に努力することによって、自らの幸福な人生を創り出していくための力や態度を身につけること。社会的・職業的自立に向かう意欲を持つこと。

「ころ豊か」とは

失敗を恐れずにチャレンジする心、困難なことにもくじけない強い心、他者とコミュニケーションをとりながら互いの良さを生かして協働する心を持つこと。

【学校経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

生徒・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係があって、はじめて学校教育目標は実現できる。その信頼関係はお互いへの「敬意」「対話」「行動」によって築かれる。

①令和2年度「丹波篠山の教育」に基づいた教育活動を推進する。

丹波篠山の教育理念「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」のもと、「子どもが自ら学び、地域とともにある学校づくり」を目指した教育活動を展開する。

②組織的できめ細かな生徒指導体制を確立し、いじめや不登校の未然防止・早期対応を徹底する。また情報モラル教育を保護者や関係機関と連携して推進する。

全ての生徒を全ての教職員で育成するため、情報交換を密にしながら、組織的な生徒指導（共通理解・共通実践）を徹底する。また、教育相談を充実し、生徒の心に寄りそう生徒指導を推進するとともに情報モラル教育を計画的に進める。

③「魅力ある授業」「達成感のある授業」を展開し、学ぶ喜びが味わえる学校づくりを進める。

全ての授業でICTを活用するとともに「予習」「学び合う活動」を充実し、自分の考えを堂々と発表できる「情報活用能力」「表現力」「発信力」を育成する。基礎・基本の力を伸ばすために、家庭学習の課題を工夫し、個々の生徒に適した学習方法を指導する。

④地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な学校づくりを進める。

地域住民や保護者の協力体制のもと、教職員の登下校指導、安全点検を徹底する。また、授業や訓練を通じて、「危険予知力」「危機回避能力」を生徒に培う。

⑤丹波篠山の自然・文化・人を活用したふるさと教育に積極的に取り組むことで、郷土に対する誇りと愛情を育み、地域貢献への意欲を高める。

丹波篠山の自然・文化・人に学ぶことによって、郷土への愛情と誇りを育む。ボランティア活動を通して、ふるさと丹波篠山に貢献する態度と意欲を育てる。また、コミュニティスクール事業を通して、地域とともにある学校づくりを推進する。

【目指す生徒像】

「学ぶ姿勢」「学ぶ喜び」「学ぶ意欲」を持つ生徒 ～褒めて伸ばす！～

「学ぶ姿勢」

授業を大切にし、あたり前のことがあたり前にできる生徒（授業規律・あいさつ・清掃・時間）

「学ぶ喜び」

学びの中で自分の成長を実感し、互いに意見や考えを出し合い、ともに伸びようとする生徒

「学ぶ意欲」

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的・計画的に努力ができる生徒

【目指す学校像】

- 生徒が自らの生き方を真剣に考え、目標や夢を持っていきいきと生活できる学校
(信頼できる仲間や教職員に囲まれ、目標や夢に向かって挑戦し、成長が実感できる学校)
- 保護者にとって、安心して子どもを任せられる学校
(安全で安心な学校、信頼できる教職員がいる学校、わが子の力を伸ばしてくれる学校)
- 地域から信頼され、応援してもらえる学校
(ふるさと丹波篠山のために貢献しようとする生徒を育てる学校)
- 教職員にとって、やりがいがあり、働きやすい学校
(教職員が互いに信頼し合い、それぞれの持ち味を生かしながら協働できる学校)

【目指す教職員像】 「楽しく 厳しく さわやかに」

- 情熱と愛情を持ち、率先垂範し、自らの信念を生徒に一生懸命語れる教職員
- 教育のプロとしての誇りを持ち、自らの資質や能力を高めるために学び続ける教職員
- 来校者や電話に対して、礼儀正しくさわやかな接遇ができる教職員
- 新学習指導要領実施に向けて、新たな教育課題に挑戦する姿勢を持つ教職員
- ワークライフバランスを意識し、「働き方改革」に積極的に取り組む教職員

【本年度の重点目標】

- ①いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、生徒の心に寄り添った組織的な生徒指導を進め、全ての生徒がいきいきと生活できる仲間づくりを進める。
(定期的なアンケート、教育相談、ノート指導、校内巡視等で、未然防止・早期対応を徹底する。また、保護者・関係機関と連携しながら情報モラル教育を計画的に推進する。)
- ②課題を持つ生徒に対して個に応じた適切な指導・支援ができる特別支援教育を充実する。
(個々の教育的ニーズを把握し、全職員で共通理解しながら共通実践を進める。)
- ③「予習」「学び合う活動」を充実させるとともに、ICTを活用した授業改善を進め、「情報活用能力」「表現力」「発信力」を伸ばし、自分の考えを堂々と表現できる力をつける。また個々の特性に合った家庭学習の方法をきめ細かく指導することにより、基礎・基本の力を伸ばす。
- ④キャリア教育を推進し、目標や夢、生き方について考える機会を設定し、「自立して未来を切り拓く態度」を育成する。
- ⑤コミュニティスクール事業を核に、職員・保護者・地域住民が丁寧にコミュニケーションをとりながら、地域とともにある丹南中学校の教育を推進する。
(学校運営協議会が中心となり、地域の理解・協力が促進される仕組みをつくる。)
- ⑥勤務時間適正化を目指して工夫・改善をさらに進め、働きやすい職場づくりを進める。